

日本人はエネルギー問題に どう取り組むべきか



東京大学 特別教授、信州大学 アクアリゼネレーション (ARG) 機構 特別荣誉教授
2024年 クラリベイト引用荣誉賞受賞

どう めん かず なり
堂免 一成 先生

現代の偉人と学び、未来を拓く *Learn with a Top Leader*
トップリダーと学ぶワークショップ

2025
7/19 土

実施時間 15:00~19:15

プロフィール

東京大学 特別教授、信州大学
アクアリゼネレーション (ARG) 機構
特別荣誉教授

どう めん かず なり
堂免 一成 先生

1976年東京大学理学部化学科卒業、1982年東京大学理学系研究科化学専門博士課程修了、1982年東京工業大学資源化学研究所助手、1996年東京工業大学資源化学研究所(触媒化学部門)教授、2004年東京大学工学系研究科化学システム工学専攻教授、2017年信州大学特別特任教授、2019年東京大学特別教授、2024年クラリベイト引用荣誉賞受賞、2025年信州大学 アクアリゼネレーション (ARG) 機構 特別荣誉教授

講演内容

ノーベル賞候補として 名が挙がる世界的研究者

堂免先生は、太陽の光を当てることで水を水素と酸素に分解する「光触媒」を使った「人工光合成」の研究で、水素を効率的に取り出す手法を開発し、世界的に注目されている研究者です。2024年9月には、論文が数多く引用され、ノーベル賞の受賞が有力視される研究者に贈られる「クラリベイト引用荣誉賞」を受賞されました。

水素は燃焼しても二酸化炭素を排出しない次世代のエネルギーとして注目されており、クリーンエネルギーをもたらすための概念を実証したことが高く評価されました。堂免先生は「世界中にクリーンなエネルギーを十分供給できるようになることが私の最終的な夢です」と語ります。

水素は半永久的に使える クリーンエネルギー

堂免先生は次のように未来を見通しています。「いずれ、我々が主に使っている化石資源の石油・石炭・天然ガスは枯渇していきますが、水素は半永久的に使えます。水素を使うことでエネルギー問題に貢献できるのです。大量に低価格の水素を製造できる高効率の光触媒および水素製造システムを開発し、できるだけ早く開発し社会に役立つように実装することが課題です」。信州大学の特別荣誉教授も務める堂免先生は、長野県飯田市で「実証タウン」を設けて水素を大量に低価格で製造するための実験計画を主導しています。

クリーンエネルギーが支える未来について、そして世界で活躍するために必要な視点について、堂免先生と共に考えていきましょう。

お申込み

定員：120名

定員になり次第締め切ります

申込は右のQRから
すぐ!!



スケジュール

開場 14:20、着席 14:50

15:00~17:00 講演・質疑応答

17:00~19:15 ワークショップ・
発表・講評

*内容が変更になる場合もあります。高3生・高卒生も参加可ですが、ワークショップの発表者はできません。

会場



東京都新宿区西新宿1-6-10 ナガセ西新宿ビル
お問い合わせは東進ハイスクール本部 0120-104-555まで

トップリダーと学ぶワークショップとは

「トップリダーと学ぶワークショップ」では、企業や研究の世界でトップを走るリーダーの知見を講演を通じて身につけます。そして、ワークショップでは仲間との徹底的なディスカッションにより、「自分が将来どうなりたいのか」「何のために受験勉強をするのか」など、高い視点から世界や自分の生き方について考えます。

講演

トップリダーの
知見を身につける

ワークショップ

仲間と徹底的に議論しながら自分の将来を考える

ディスカッション 発表 講評

東進生・早稲田塾生対象 **無料招待**